



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 株式会社サンテック 上場取引所 東  
 コード番号 1960 URL <https://www.suntec-sec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤剛志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 船戸文英 TEL 03-3265-6181  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,968	△14.6	△1,317	—	△666	—	△539	—
2022年3月期第2四半期	18,709	△6.0	△135	—	177	447.9	86	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △494百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 286百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△33.04	—
2022年3月期第2四半期	5.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	40,842	29,983	73.2	1,832.38
2022年3月期	45,457	30,633	67.2	1,871.87

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 29,917百万円 2022年3月期 30,562百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	5.3	△200	—	800	64.2	500	—	30.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	17,000,000株	2022年3月期	17,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	673,052株	2022年3月期	673,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	16,326,973株	2022年3月期2Q	16,535,637株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 四半期個別業績

(1) 2023年3月期第2四半期の個別業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

① 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,467	△24.2	△1,185	—	△585	—	△416	—
2022年3月期第2四半期	12,490	△11.8	△160	—	81	56.8	41	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△25.49	—
2022年3月期第2四半期	2.50	—

② 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	32,406	26,698	82.4	1,635.25
2022年3月期	36,869	27,709	75.2	1,697.16

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 26,698百万円 2022年3月期 27,709百万円

(2) 個別業績予想

2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△1.2	△400	—	400	56.8	200	—	12.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
3. その他 .....	12
生産、受注及び販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、第13次中期経営計画(2022年4月～2025年3月)において、経営理念の下、Innovationに積極的に取り組み、持続的成長を目指し、「お客さま、社会のニーズに応える事業基盤の強化」、「安全・品質の確保と施工力強化」、「人財の確保・育成と働き方改革の推進」、「DX推進等による生産性・収益性向上」、「ガバナンスの確保」、「SDGsへの取り組み」の6項目を重点方針として取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、電力部門の受注減を本社、マレーシア、ベトナムを始めとした国内外の内線部門でカバーしたことにより受注高は242億24百万円(前年同四半期比18.8%増)、工期の遅れによる完成が下期及び次期にずれ込んだことにより売上高は159億68百万円(前年同四半期比14.6%減)となりました。

利益面では、計画していた売上の未達による利益の減少と計画していた原価低減が資材調達の価格高騰もあり利益改善率が低調となりました。また、工事損失引当金の計上もあり売上総利益が減少したことにより営業損失13億17百万円(前年同四半期は営業損失1億35百万円)、受取地代家賃が例年通り堅調に推移し、為替差益3億9百万円の計上により経常損失6億66百万円(前年同四半期は経常利益1億77百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失5億39百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益86百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

当第2四半期連結累計期間の売上高は99億83百万円(前年同四半期比27.4%減)となり、営業損失は5億90百万円(前年同四半期は、営業利益5億54百万円)となりました。

(東南アジア)

当第2四半期連結累計期間の売上高は44億52百万円(前年同四半期比14.0%増)となり、営業損失は68百万円(前年同四半期は、営業利益27百万円)となりました。

(その他アジア)

当第2四半期連結累計期間の売上高は16億43百万円(前年同四半期比51.3%増)となり、営業利益は12百万円(前年同四半期は、営業損失17百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ46億14百万円減少し、408億42百万円となりました。主な要因は、現金預金6億97百万円、受取手形・完成工事未収入金等19億84百万円、電子記録債権6億3百万円、時価の低下による投資有価証券5億25百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ39億64百万円減少し、108億59百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等18億38百万円や電子記録債務10億22百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億50百万円減少し、299億83百万円となりました。主な要因は、利益剰余金7億2百万円の減少などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、7億3百万円減少し、80億94百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億21百万円の支出(前年同四半期は、15億98百万円の収入)となりました。主な要因は、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失が6億60百万円となった他、売上債権の減少31億21百万円などにより資金が増加しましたが、仕入債務の減少31億46百万円などにより資金が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億3百万円の支出(前年同四半期は、16百万円の収入)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出2億31百万円や無形固定資産の取得による支出1億19百万円などにより資金が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億82百万円の支出(前年同四半期は、6億86百万円の支出)となりました。主な要因は、短期借入金の減少3億82百万円や配当金の支払額1億63百万円などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済の見通しにつきましては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあり、景気が持ち直していくことが期待されますが、世界的な金融引締め等が続く中、資材調達の価格高騰や急激な円安の進行等、景気の下振れリスクに十分注意する必要があります。

このような状況及び当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、2022年8月5日に公表いたしました業績予想を次のとおり修正しております。

売上高420億円、営業損失2億円、経常利益8億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	8,904,847	8,207,297
受取手形・完成工事未収入金等	13,256,433	11,272,357
電子記録債権	1,129,753	525,772
未成工事支出金	727,909	990,752
その他	2,226,569	1,074,882
貸倒引当金	△111,967	△124,361
流動資産合計	26,133,545	21,946,701
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,555,694	4,555,694
その他(純額)	2,571,846	2,647,531
有形固定資産合計	7,127,541	7,203,225
無形固定資産		
のれん	37,604	—
その他	959,132	955,766
無形固定資産合計	996,737	955,766
投資その他の資産		
投資有価証券	4,765,821	4,240,295
投資不動産(純額)	5,329,951	5,366,439
繰延税金資産	118,176	121,180
その他	1,057,923	1,088,731
貸倒引当金	△72,480	△79,480
投資その他の資産合計	11,199,392	10,737,166
固定資産合計	19,323,671	18,896,159
資産合計	45,457,217	40,842,860

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,410,376	4,571,778
電子記録債務	2,067,201	1,044,488
短期借入金	403,440	40,000
未払法人税等	68,840	61,040
未成工事受入金	2,462,583	2,633,690
完成工事補償引当金	18,000	18,000
工事損失引当金	372,409	413,029
賞与引当金	251,598	12,321
その他	1,322,387	992,074
流動負債合計	13,376,838	9,786,422
固定負債		
長期借入金	218,796	194,796
繰延税金負債	690,863	319,884
役員退職慰労引当金	7,451	8,164
執行役員退職慰労引当金	35,110	34,270
退職給付に係る負債	110,445	137,042
その他	384,268	378,937
固定負債合計	1,446,934	1,073,094
負債合計	14,823,772	10,859,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,250	1,190,250
利益剰余金	27,829,692	27,126,954
自己株式	△471,856	△471,889
株主資本合計	28,548,086	27,845,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,579,571	1,145,370
為替換算調整勘定	322,861	835,467
退職給付に係る調整累計額	111,564	90,980
その他の包括利益累計額合計	2,013,998	2,071,819
非支配株主持分	71,360	66,208
純資産合計	30,633,444	29,983,342
負債純資産合計	45,457,217	40,842,860



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	18,709,090	15,968,684
売上原価	16,503,347	14,856,022
売上総利益	2,205,742	1,112,661
販売費及び一般管理費	2,341,446	2,430,106
営業損失(△)	△135,704	△1,317,445
営業外収益		
受取利息	2,333	2,017
受取配当金	52,631	54,682
受取地代家賃	259,315	250,650
為替差益	61,183	309,875
その他	130,294	196,765
営業外収益合計	505,758	813,991
営業外費用		
支払利息	4,292	6,734
不動産賃貸費用	83,339	88,005
その他	104,465	68,776
営業外費用合計	192,097	163,516
経常利益又は経常損失(△)	177,956	△666,969
特別利益		
固定資産売却益	1,512	2,852
投資有価証券売却益	—	7,464
特別利益合計	1,512	10,316
特別損失		
固定資産除却損	47	3,420
その他	—	308
特別損失合計	47	3,728
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	179,422	△660,382
法人税等	88,030	△106,650
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,391	△553,732
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,992	△14,264
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	86,398	△539,467

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,391	△553,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,516	△435,388
為替換算調整勘定	164,512	515,195
退職給付に係る調整額	△21,213	△20,583
その他の包括利益合計	194,815	59,223
四半期包括利益	286,206	△494,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286,769	△481,646
非支配株主に係る四半期包括利益	△562	△12,861

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	179,422	△660,382
減価償却費	318,300	330,797
のれん償却額	75,208	37,604
貸倒引当金の増減額(△は減少)	663	8,012
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△5,781	40,620
賞与引当金の増減額(△は減少)	△277,871	△239,277
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	720	713
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,035	△840
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,934	21,087
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△9,353	△38,896
受取利息及び受取配当金	△54,965	△56,700
支払利息	4,292	6,734
為替差損益(△は益)	△20,481	△147,101
持分法による投資損益(△は益)	15,414	23,514
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7,464
有形固定資産除却損	47	3,420
売上債権の増減額(△は増加)	3,316,173	3,121,414
未成工事支出金の増減額(△は増加)	92,940	△216,349
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,252,957	△3,146,730
未成工事受入金の増減額(△は減少)	36,062	△21,137
その他の資産の増減額(△は増加)	△485,034	1,802,217
その他の負債の増減額(△は減少)	△238,197	△1,143,580
小計	1,706,573	△282,322
利息及び配当金の受取額	54,965	56,700
利息の支払額	△4,292	△6,734
法人税等の支払額	△158,484	△89,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,598,760	△321,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△191,595	△231,346
有形固定資産の売却による収入	1,555	2,993
無形固定資産の取得による支出	△43,050	△119,417
投資有価証券の取得による支出	△4,533	△4,759
投資有価証券の売却による収入	—	12,684
投資不動産の取得による支出	△3,835	△60,527
定期預金の払戻による収入	288,464	56,385
定期預金の預入による支出	△50,385	△62,386
貸付けによる支出	△14,537	—
貸付金の回収による収入	302	233
保険積立金の払戻による収入	33,505	—
その他の増減額(△は減少)	117	3,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,006	△403,080

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△183,943	△382,541
長期借入金の返済による支出	△24,000	△24,000
リース債務の返済による支出	△12,022	△11,721
自己株式の売却による収入	19	—
自己株式の取得による支出	△168,821	△33
配当金の支払額	△298,009	△163,977
財務活動によるキャッシュ・フロー	△686,777	△582,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	168,736	603,476
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,096,726	△703,551
現金及び現金同等物の期首残高	6,314,106	8,798,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,410,832	8,094,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,755,525	3,905,919	1,047,645	18,709,090	—	18,709,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	38,428	38,428	△38,428	—
計	13,755,525	3,905,919	1,086,074	18,747,518	△38,428	18,709,090
セグメント利益又は損失 (△)	554,837	27,795	△17,162	565,470	△701,175	△135,704

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△701,175千円は、主として親会社管理部門に係る費用(配賦不能営業費用)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,983,993	4,412,339	1,572,350	15,968,684	—	15,968,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39,843	71,156	110,999	△110,999	—
計	9,983,993	4,452,183	1,643,507	16,079,684	△110,999	15,968,684
セグメント利益又は損失 (△)	△590,162	△68,385	12,300	△646,247	△671,197	△1,317,445

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△671,197千円は、主として親会社管理部門に係る費用(配賦不能営業費用)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

## 3. その他

生産、受注及び販売の状況

## ① 連結受注実績

(単位：千円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		対前年同四半期増減(△)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
内線工事	12,345,934	60.6	18,356,361	75.8	6,010,426	48.7
電力工事	6,366,213	31.2	3,368,255	13.9	△2,997,957	△47.1
空調給排水工事	1,320,161	6.5	2,182,422	9.0	862,261	65.3
機器製作	350,434	1.7	317,611	1.3	△32,823	△9.4
合計	20,382,744	100.0	24,224,651	100.0	3,841,907	18.8

## ② 連結売上実績

(単位：千円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		対前年同四半期増減(△)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
内線工事	11,220,908	60.0	11,305,880	70.8	84,972	0.8
電力工事	5,422,226	29.0	3,001,632	18.8	△2,420,594	△44.6
空調給排水工事	1,635,483	8.7	1,452,021	9.1	△183,461	△11.2
機器製作	430,471	2.3	209,149	1.3	△221,322	△51.4
合計	18,709,090	100.0	15,968,684	100.0	△2,740,405	△14.6